

農林水産業者・緑化功労者 表彰

本年度、日野郡から表彰を受けられたのは、次の方々です。
 一人おひとりの力が、ふるさとを守り、
 なりわいが未来に続く源となっています。
 感謝の気持ちとあわせ、今後のますますのご活躍を期待します。

全国優良経営体表彰

意欲と能力のある担い手の経営発展を図るため、農林水産省経営局長等が表彰するものです。今年は県代表として㈱エイトが推薦され受章、11月8日、全国担い手サミット(山形県)で表彰式典が行われました。



全国担い手育成総合支援協議会長賞
 (株)エイト (日南町阿毘緑)



㈱エイトのみなさん

水稲+トマトを農業経営の柱とし、冬場は除雪作業を受託。目標達成に向けて着実に取り組むことがモットーです。毎日細やかな生育管理を心掛け、特にトマトは、町内でもトップクラスの収量、販売額をあげています。近隣の法人と労力補完されており、こうした創意工夫が新しい仕組みにつながるものと期待されます。

中国・四国地区緑化功労者表彰

緑化推進に功績があった方を中国・四国地区緑化推進協議会が表彰するものです。11月8日、日野振興センター所長から表彰状を伝達しました。個人では日野郡から17年ぶりの表彰となりました。



つぼくら さとし
 坪倉 敏氏 (日野町中菅)



坪倉敏氏(右)と越智所長(左)

環境省自然公園指導員、鳥取県自然保護監視員を務め、とっとり森づくりサポーターにも登録、自然や森林を守る活動にも積極的に協力されています。小学生や住民を対象とした森林学習会の講師のほか、長年、林業後継者への技術指導にも携わり、分かりやすい解説には定評があります。

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰 ~日野郡から2名~

10月10日、平成30年度表彰式典が知事公邸で行われ、6部門で41経営体・組織が表彰されました。



おおはたしゅん そう
 大畑 俊三氏 (日南町湯河)



(農)多里生産組合のリーダーとして地域の農地を集積、水稲、トマト、ピーマン、林業の複合経営に取り組まれています。農林業研修生を受け入れ、雇用や就業に至るまで細やかに世話をされるなか、次世代の担い手育成にも貢献されました。また、特産物加工直売施設「ホームランド多里」の運営にも尽力し、移住定住や6次産業化の先駆的な存在となっています。



ばばひろまさ
 馬場 弘政氏 (日南町茶屋)



日南町の農業研修修了後、平成23年4月に1ターン(福岡県出身)で就農。トマトの施肥管理や灌水調整の技術を習得されるとともに、新品種りんか409の導入により、平成29年は町内2位の単収をあげました。また、JA鳥取西部日南トマト生産部副部長として、産地の活性化にも取り組んでいます。

日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2004 FAX:0859-72-2011

蜜蜂を飼育される方への

お知らせ

蜜蜂を飼育される方(趣味の養蜂を含む。)は、養蜂振興法により「蜜蜂飼育届」(1月1日~12月31日の飼育計画)をその年の1月31日までに県知事に毎年提出する必要があります。日野郡にお住まいの方は日野振興センターが提出先となりますので、手続き等についてご不明な点がございましたら、問合せ先にご確認ください。

日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2005 FAX:0859-72-2011

大山ワンダーフォーラム

「日本の鉄文化・たたらへの歴史フォーラム」 &第16回 日野川源流米コンテスト

平成30年10月20日・21日、大山開山1300年祭の集大成として、クライマックスイベント「大山ワンダーフォーラム」が開催され、併催された「農と食のフェスタinせいぶ」とあわせて、県内外から約8万人の方が来場されました。米子市公会堂が会場となった「日本の鉄文化・たたらへの歴史フォーラム」では、日野郡の地域資源であるたたらに関する事例発表や刀剣に関するシンポジウムが行われました。

また、日野郡3町はPRブースを設け、ARアプリを活用したたたら場の再現や名刀展のパネル展示など、それぞれ工夫を凝らした情報発信を行い、日野郡の魅力を多くの来場者に届けました。



『全国たたらサミット』
 たたらをテーマに地域活性化に取り組む全国6団体が各地域事例発表を行い、日野郡からは「伯耆国たたら顕彰会」が、ふいご祭、史跡研究などについて発表しました。

『大山山麓の歴史・刀剣シンポジウム』 高橋英樹氏×井沢元彦氏対談「日本刀はここから始まった!」



地元で生産された質の高い鋼から数々の名刀が生まれたことを対談で絶賛。高橋氏は自己所有の模造刀で殺陣を披露。時代劇のセリフ、撮影秘話をトークに織り交ぜ、詰めかけたファンを喜ばせました。



オープニングアトラクション
 日南神楽神社が、「神能八重垣(しんのうやえがき)の舞」より「大蛇退治(おろちたいじ)」を上演しました。ダイナミックな伝統の舞に、観客は魅了されました。



『ミニたたら操業』
 伯耆国たたら顕彰会が、ミニたたら操業を行い、多くのたたらファンが詰めかけ、砂鉄投入体験やケラ出しなどを楽しみました。



『ペーパーナイフづくり体験』
 「鍛冶工房 宮光」のブースは、ナイフを作る来場者で大賑わいでした。



第16回 日野川源流米コンテスト (第5回 農と食のフェスタ in せいぶ)

米子駅前周辺で開催された第5回農と食のフェスタ in せいぶの会場(米子コンベンションセンター)では日野川源流米コンテストが行われ、予備審査により厳選された米を来場者200名が実食し、投票の結果日野町の(株)優裁が最優秀賞に選ばれました。